



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2022

9月5日
(月曜日)

TBK

電動車向け事業本格化

二輪用バッテリー部品 来年、タイで量産

大型車向けブレーキやエンジン部品を手がけるTBKは電動車向け事業に乗り出す。第一弾として2023年にも電動二輪車向けアルミ製バッテリーケースをタイ工場で量産する。車載用電池セルの組み立ても手がける。世界的な電気自動車(EV)シフトで、エンジン部品事業の縮小が見込まれている。これをカバーするため、アルミダイカスト製品などで培ってきた技術を、電動車向けに応用する。今後も車載用バッテリー周辺部品を開発して電動車向け事業の拡大を図る方針だ。

世界的なEVシフトに対応

同社は商用車向けブレーキシステムや、カムシャフト、シリンドラーヘッド、ターボチャージャーのベアリングハウジングなどのエンジン周辺部品を手がけている。中国や北米でEVシフトが加速してお

り、今後、大型車でも電動化が加速する見通しで、内燃機関向け部品需要の縮小が見込まれている。同社は内燃機関向け事業のマイナスをカバーするため、電動車向け事業を本格的に展開する。まずタイ市場向け電動二輪車向けにアルミ製バッテリーケースを量産する。中国の電池セルを手がけるベンチャー企業から受注した。タイで自動車向けポンプ類やエンジン部品を製造しているTBK K(タイランド)に

及促進を図っており、タイで有名な三輪車「トゥクトゥク」もEV化が進む見通し。同社は、これらタイの電動車

向け部品の需要を積極的に取り込んでいく構えだ。今後、EV向け製品の受注獲得を狙う。複雑な形状に加工できるアルミ重力铸造(GDC)に対応する生産設備も導入して、アルミダイカスト製部品のノウハウを生かした軽量なEV向け部品を開発して量産を目指す。将来的にはモーターケースなどの受注を視野に入れており、EV向け部品事業を本格的に展開する構えだ。



バイク市場にも電動化の波が押し寄せている(写真は第49回東京モーターサイクルショーでの電動バイク)

新しい組み立てラインを設けるものの、工程のほとん

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2022年9月5日 日刊自動車新聞 3面

©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。